

笑顔でつなぐ、未来へつなぐ 職場リレーの女子駅伝 株式会社明輝クリーナー

職場リレーの第六走者は、株式会社 明輝クリーナー（代表取締役 小島孝信氏 愛知県豊橋市若松町字中山 101-34）の女子社員の皆様です。昭和47年創業、三河地域の環境保全に長年貢献された同社は今年二代目の代表取締役が就任。新体制となった社内には新たな風と共に多くの新芽が息吹き、これまでの盤石な基盤をさらに強固なものとしております。今回は“未来を創るチカラ”となる3名の女子社員の方にお話を伺いました。

★自己紹介をお願いします。

大橋：統括管理本部経理チームの大橋和美です。勤続年数は、二人目の出産時に1年休みましたが、復職をしてトータルで13年間勤務しております。

太田：統括管理本部経理チーム太田捺美です。私は今年入社しました。



左から太田捺美さん、小林友梨亜さん、大橋和美さん

★お二人の担当業務についてお聞かせください。

大橋：現在の担当業務は、ドライバーが収集してきた廃棄物のデータ入力をして、そのデータを元に請求書を発行しています。収集車両ごとに担当があり、私はクレーン車を主に担当しています。

太田：私は大橋さんとほぼ同じ業務を習得しているところです。入社後数か月の研修を受け、最初に売掛業務の習得、現在はパッカー車の車両ごとの日報処理をしています。他にマニフェストの入力も担当をしています。

大橋：私は復職したのが10年ほど前です。その時期はパートでしたが、1年半前に正社員に登用していただきました。業務内容はパート時代とそれほど変わりませんが、仕事に臨む姿勢として『責任を持ち取り組む』、という意識の変化はありました。

★今後、職業人としてどのように成長されたいですか。

太田：今は教えてもらうことばかりなので、自分が指導する立場になった時は、今の先輩方のように気

配りができ、頼り甲斐のある職業人になりたいと考えています。

大橋：先日社外研修に行くことがあり、中堅社員の心構えや後進の育成等、自分が求められている役割について学び、今後の職業人としての在り方について深く考えました。そのためにも、常に

自己のスキルアップを図りたいと思っています。

もう一点、子育て経験があることにより、育休後の社員の相談相手となることもあり、ビジネス以外での経験が業務の円滑な運営の中で役立つことはうれしかったです。教育指導の立場としては、ヒューマンスキルも職業人としては必要ではないかと感じたことがあります。

★お休みの日はどのように過ごされますか。

太田：デスクワークが多いため、休日はなるべく外出をし、ショッピングや学生時代の友人と近況報告を兼ねて食事をします。公私にメリハリをつけることにより仕事へのモチベーションが上がります。

大橋：お休みは1週間分の買い物に出たりしますが、できる限り家族と行動を共にし、一緒に過ごせる時を楽しんでいます。一人で過ごせる休みの日もありますが、気がつくと家族の用で過ごしており、ホームベースがあつての仕事ではないかと、今は家庭を大切にしています。

★それでは、産廃業界の仕事に関心がある方へメッセージをお願いします。

就職説明会でのことですが、廃棄物業に対して一般的な印象で捉えられ、イメージがわきにくいという質問があります。しかし実際に入社して就業されると「一般企業と変わりませんね。これまでの先入観は誤解ですね。」という感想が返ってきます。

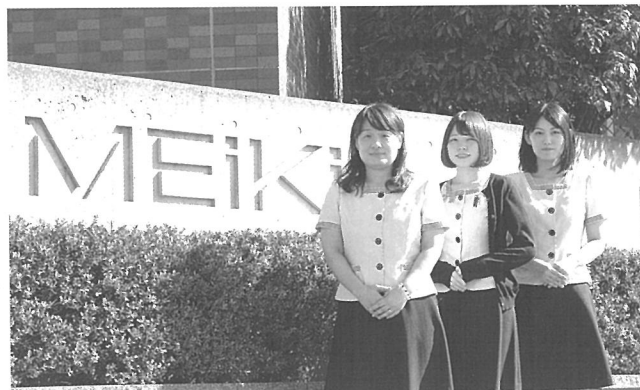
廃棄物処理の業務は許認可事業のため、入社後は多くの知識が必要となり法律に基づく実務の学習が必須です。日々収集されてくる廃棄物ごとに処理が異なり簡単な業務ではない分、奥が深く学ぶことも多く、他の仕事より高い満足度が得られます。

また弊社では、本年代表取締役社長に小島孝信氏が就任され、年齢性別を問わず力量のある者を役職に登用するという改革が行われ、現在若手の管理職の方が多数活躍されています。産業廃棄物業界においても社会的な傾向を考慮して、人材育成に注力されている企業が多いのではないかと思います。

人事広報室長 小林氏談

★最後に次の企業さんへのメッセージをお願いします。

弊社は近隣の中学校で出張授業を行っています。授業内で弊社名を挙げましたが、残念ながらほとんど



の生徒が知りませんでした。しかし社会からごみが消えることはなく、今後地球への影響を考慮すれば、教育の現場で環境活動の重要性について情報発信を行う弊社の活動は、子を持つ親としてはとても感謝しています。次の企業さんは未来に向けての環境教育についてどのように対応されていますか。

新入社員の太田さんは大橋さんのような先輩の姿を目標に、大橋さんは上司としての理想の姿に近づくため、それぞれに人間力を高めています。経営理念である「共に育つ喜びの創造」は全社員に浸透し、その成果は2年間続けて「ESJアワード賞」の受賞という結果を導いています。

～女子駅伝に寄せて～

私は、勤続16年、主に総務、財務全般を統括管理しています。

8年前女性二名で、「車両系建設機械（整地・運搬・積込用及び掘削用）」と「車両系建設機械（解体用）」の二つの資格を取得しました。動機は内勤業務以外について見識を広め、現場の状況についても把握できる管理職を目指したいと思ったからです。不安を抱えながらも“やるしかない！”と一念発起、資格取得のために1週間教習所に通所しました。それゆえ合格した時の達成感は今も忘れません。その時、『女性でもやればできる、できないことはないんだ。』と身をもって経験したことで多くを学び、なにより自信ができました。

昨今女性の働き方にも変化が見られ、一般的な事務業務への応募以外に専門分野出身の女性応募者は、就学中に学んだことを活かした現場業務への希望も増えております。一例では、水処理を任せている女性作業員は中型免許を取得し、男性と同等に業務を行う姿は、年齢を問わずかっこ良く尊敬しています。弊社は20名ほど女性社員が在職しておりますが、女性だからできること、女性でもできること、を意識し全社の底上げを図り、自身の経験上から得た『やってやれない事はない！』という想いで、日々業務に邁進しております。



(株) 明輝クリーナー 取締役 兼 統括管理本部 部長 山田加世子氏